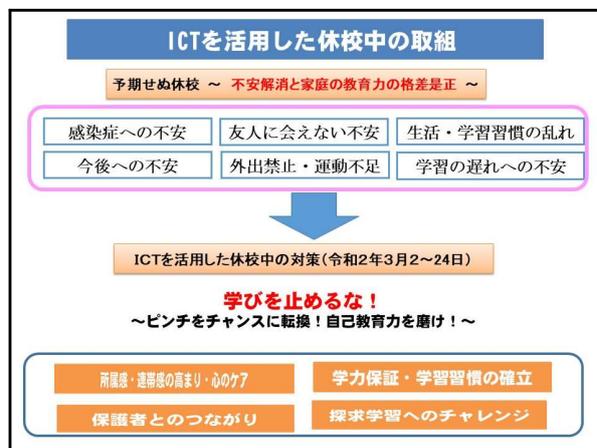


上越教育大学附属中学校 新型コロナウイルス感染拡大予防のための休校措置における  
ICTを活用した「学びを止めるな！」プロジェクトの成果  
～ピンチをチャンスに転換！自己教育力を磨け！～

## 1 ねらい

当校のICT環境を活用することにより、  
休校中における生徒の以下の活動を保障する。

- 所属感・連帯感の高まり・心のケア
- 学力保障・学習習慣の確立
- 探求学習
- 保護者とのつながり



## 2 手立て

### (1) Google Classroomによる連絡・指示【全学年】

#### ① 方法

毎朝8：45に、学級担任が一斉に学級の生徒に向けて次の内容を指示する。

- ・GoogleFormによる健康観察
- ・その日の学習課題
- ・学校からの連絡など

#### ② 期待される効果

- ・学級担任、教科担任が各クラスのコースに投稿、課題の添付、評価ができる
- ・生徒も教師の投稿に返信したり、課題を取得・提出したりできる
- ・課題や成果物は、Googleドライブに保存されるため、管理・集計が確実かつ容易である
- ・Wi-Fiに常時接続できない生徒も、一時的にネットにつながることで、閲覧や提出が可能である

### (2) Zoom（ビデオ会議システム）による、オンライン学級活動の実施

【1，2年生】

#### ① 方法

毎朝8：45から、生徒が家庭で一人一台所有する学習用iPadを用いて、学級ごとにビデオ会議システムを利用した学級活動を行う。

#### ② 期待される効果、留意点

- ・担任がWeb会議室を開設、生徒が参加して直接、会話・交流することが可能
- ・Wi-Fiに常時接続できない生徒には、教師がその様子を録画して送信し、電話等で確認する

### (3) iTunes U（講義アプリ）による課題の配布、成果物の提出【1，2年生】

① 方法

各教科で学習コースを設定し、生徒に学習内容等（自作・既存のクリップなど、学習プリント、ウェブサイト、各種アプリ、サービス）を提示する。

② 期待される効果、留意点

- ・課題解決的な活動により、習得だけでなく探求的な学習の場を設定する。
- ・各種たより、配布文書などが通常どおり定期配信することができる。

(4) ロイロノート（授業支援アプリ）による振り返り活動の充実【全学年】

① 方法

1日の学習課題が終了した時点で、生徒個々が1日の取組を振り返り、「自己調整ノート」に記入し、提出する活動を位置付ける。

② 期待される効果、留意点

- ・学級担任、教科担任が、生徒個々の学習の進捗状況などを把握することができる

3 1日の学習プログラム（休校措置期間 3/3～3/24の平日）

8：45～	9：00	学級活動（健康観察，その日の課題の確認，連絡等）
9：00～	9：50	1限
10：00～	10：50	2限
11：00～	11：50	3限
13：00～		探求学習

内容等は、学級活動で指示

「自己調整ノート」で1日の振り返りを行い、提出する

3月1週（12コマ）3月2日(月)～6日(金)

	2 (月)		3 (火)		4 (水)		5 (木)		6 (金)	
	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年
9:00～	連絡のみ		<sup>01</sup> 理科	<sup>01</sup> 社会	<sup>04</sup> 数学	<sup>04</sup> 英語	<sup>07</sup> 理科	<sup>07</sup> 国語	<sup>10</sup> 数学	<sup>10</sup> 社会
10:00～			<sup>02</sup> 技術	<sup>02</sup> 音楽	<sup>05</sup> 理科	<sup>05</sup> 数学	<sup>08</sup> 美術	<sup>08</sup> 理科	<sup>11</sup> 理科	<sup>11</sup> 英語
11:00～			<sup>03</sup> 音楽	<sup>03</sup> 保健	<sup>06</sup> 保健	<sup>06</sup> 理科	<sup>09</sup> 家庭	<sup>09</sup> 美術	<sup>12</sup> 理科	<sup>12</sup> 家庭

3月2週（15コマ）3月9日(月)～13日(金)

	9 (月)		10 (火)		11 (水)		12 (木)		13 (金)	
	1年	2年								
9:00～	<sup>13</sup> 理科	<sup>13</sup> 社会	<sup>16</sup> 数学	<sup>16</sup> 社会	<sup>19</sup> 理科	<sup>19</sup> 数学	<sup>22</sup> 数学	<sup>22</sup> 国語	<sup>25</sup> 数学	<sup>25</sup> 英語
10:00～	<sup>14</sup> 数学	<sup>14</sup> 音楽	<sup>17</sup> 理科	<sup>17</sup> 体育	<sup>20</sup> 社会	<sup>20</sup> 英語	<sup>23</sup> 体育	<sup>23</sup> 理科	<sup>26</sup> 理科	<sup>26</sup> 社会
11:00～	<sup>15</sup> 音楽	<sup>15</sup> 理科	<sup>18</sup> 国語	<sup>18</sup> 理科	<sup>21</sup> 美術	<sup>21</sup> 理科	<sup>24</sup> 理科	<sup>24</sup> 社会	<sup>27</sup> 理科	<sup>27</sup> 理科

3月3週（12コマ）3月16日(月)～19日(木)

	16 (月)		17 (火)		18 (水)		19 (木)		20 (金)	
	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年
9:00～	<sup>28</sup> 音楽	<sup>28</sup> 社会	<sup>31</sup> 理科	<sup>31</sup> 数学	<sup>34</sup> 数学	<sup>34</sup> 社会	<sup>37</sup> 美術	<sup>37</sup> 国語	春分の日	
10:00～	<sup>29</sup> 理科	<sup>29</sup> 音楽	<sup>32</sup> 数学	<sup>32</sup> 英語	<sup>35</sup> 社会	<sup>35</sup> 音楽	<sup>38</sup> 理科	<sup>38</sup> 英語		
11:00～	<sup>30</sup> 国語	<sup>30</sup> 理科	<sup>33</sup> 社会	<sup>33</sup> 美術	<sup>36</sup> 理科	<sup>36</sup> 理科	<sup>39</sup> 理科	<sup>39</sup> 理科		

## 4 成果について

### (1) 所属感・連帯感の高まり・心のケアの成果

1 所属感・連帯感の高まり・心のケア

**○ 朝学活 毎朝8:45**  
学級全員が顔を見ながら、健康観察や連絡をし合う。  
…Zoom(ビデオ会議システム)の活用

**○ 担任とつながるノート**  
一日の振り返り(自己調整ノート)を毎日記入して提出、担任との心の交流  
…ロイロノートスクールの活用

【生徒の感想】

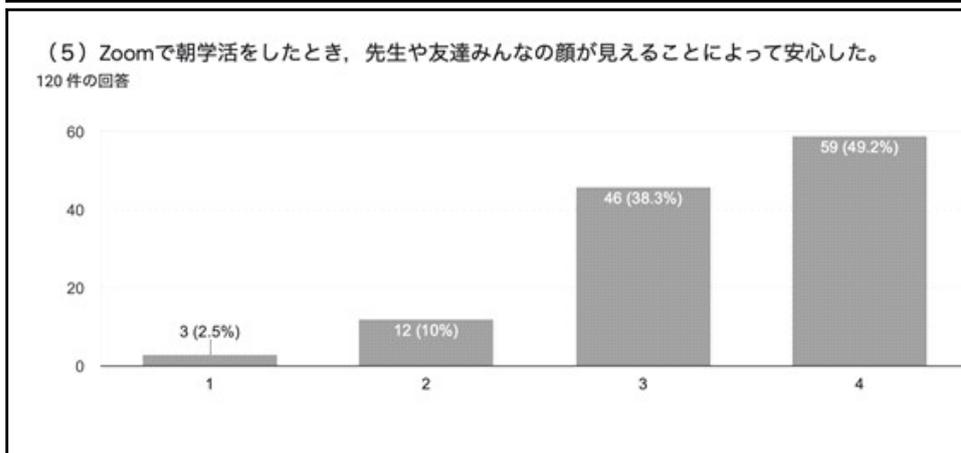
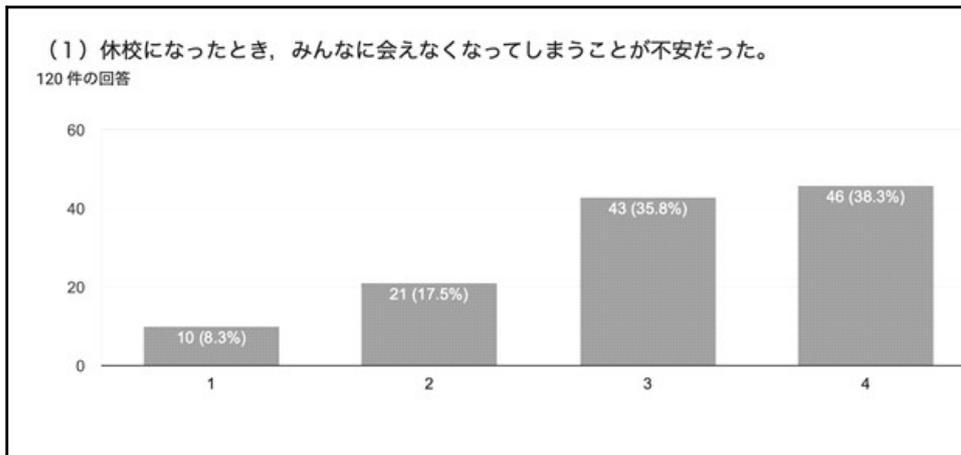
- 級友とのつながりを感じられた。
- 生活習慣や学習習慣が乱れなかった
- 学校からの連絡が逐一確認できた




各取組に対しての効果を検証するために、生徒たちにアンケートを実施した。以下の尺度で回答してもらった。

4	当てはまる
3	↕
2	
1	当てはまらない

下の(1)「休校になったとき、みんなに会えなくなってしまうことが不安だった」との質問に対して、74%の生徒が不安を感じていた。Zoom(ビデオ会議システム)を活用した朝学活を実施したことにより、(5)「Zoom(ビデオ会議システム)で朝学活をしたとき、先生や友達みんなの顔が見えることによって安心した」と肯定的な評価をした生徒の割合は88%となった。



また、以下の生徒の自由記述からも、生徒が安心感を高めたり級友たちとのつながりを実感できたことが分かる。

- 周りとながっていることを意識することで、自分自身を奮い立たすことができた。
- 朝学活があることで朝早く起きることができて、生活リズムを崩すことがなかった
- Zoomでみんなと話せて、1日を楽しく始めることができたことです。それによって、学習のモチベーションもなかなか向上して、いい感じでした。

## (2) 学力保障・学習習慣の確立の成果

**2 学力保障・学習習慣の確立**

○ 午前中  
3時間の授業の実施 9教科  
1限9:00 2限10:00 3限11:00

- ・授業の自作動画作成
- ・学習コースを作成・提示
- ・学習内容の提示、Webサイトの紹介
- ・学習プリント … iTunes Uの活用
- ・生徒へのフィードバック
- 提出された成果物へのコメント等

教員：課題点検・助言



自作動画作成・課題提示




午前中3時間の教科の学習を実施した。Class Roomを活用し定時に配信した。

生徒が自主学習するために、教科書や「NHK for school」などの動画を紹介したり、教師自ら動画を作成したりして、生徒に配信した。

生徒は、教師からの課題に取り組み、オンライン利用して、教師に提出し、採点や添削を受け、学習を進めていった。

また、保健体育科では運動不足解消のため、家庭内のできる体操を動画作成し、生徒に紹介した。

生徒が休校中の自分の学習習慣や進捗、取組状況をモニタリングしながら、自己教育力を磨いていくために、左に示した「自己調整ノート」に記入していった。

生徒の記述内容から、一日の生活リズム、学習リズムを確認することに加え、自分の学習状況を振り返っていることが分かる。

**1 日の振り返り (自己調整ができる学習者へ)**

毎日の生活や学習の進め方を内省し、「できていること」と「足りないところ」をモニタリングしていく

月	3月16日	今日の評価	今日の記録	
家庭学習(自主学習)	時間	教科	教材・頁・内容	最近、とっついても時間が早く感じます。気づけば休校3週目!!驚きでしかありません!なのでもっと時間を大切にしていきたいです。今日は午後総務の会議と学年集会がありました。その後、残った時間を有効に使い自主学習することができました。
	9:00 ~ 10:00	音楽	課題	
	10:00 ~ 11:00	理科	課題	
	11:00 ~ 12:00	国語	課題	
	15:30 ~ 18:00	英語	ドリル	
今日の生活	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 就寝 読書 音楽 理科 体育 理 新 教(宿)			

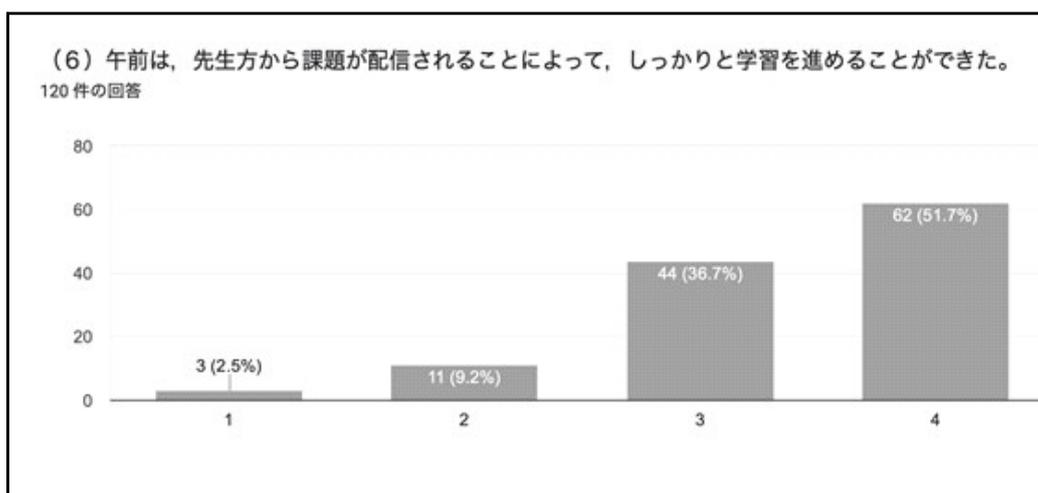
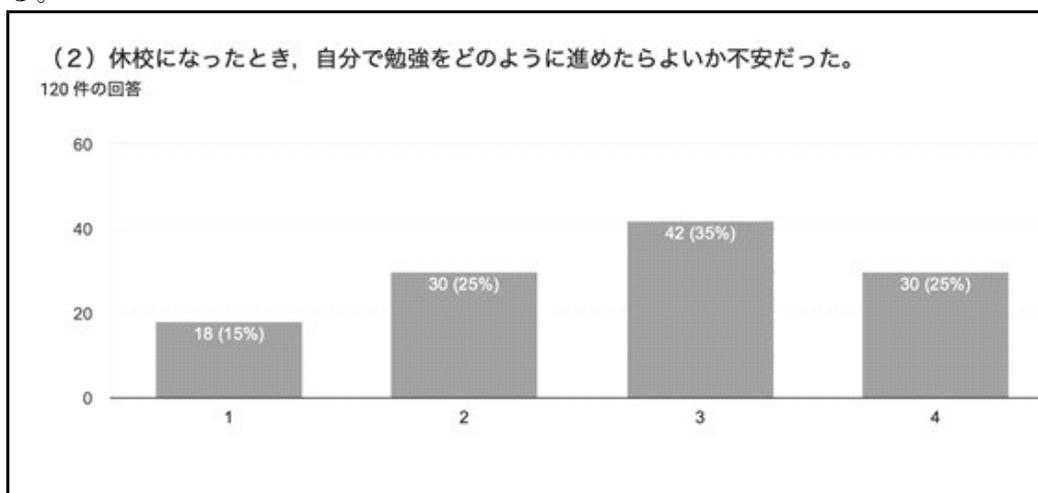
  

水	3月18日	今日の評価	今日の記録	
家庭学習(自主学習)	時間	教科	教材・頁・内容	今日の音楽では、言葉の歌と録音して提出するという課題が出されました。今までは学校で友達と無意識にもたくさんしゃべっていたけど、最近は話すことも減ったので、少し歌声にも影響していました。これからは、自分で音のトレーニングなどでは、いかに
	13:00 ~ 14:00	保体	授業課題	
	14:00 ~ 15:30	理科		
	17:30 ~ 19:00	学年課題	数社、理、国、英	
	21:00 ~ 23:00	塾	数、英、国	
今日の生活	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 就寝 読書 音楽 理科 体育 理 新 教(宿)			

【自作動画の本数】 計 39

国語科 8, 社会科 12, 数学科 3, 理科 1, 音楽科 7, 保体 6, 技術 1, 道徳 1

(2)「休校になったとき、自分で勉強をどのように進めたらよいか不安だった」の質問に、60%の生徒が不安を感じていた。ICTを活用した授業を展開したことにより、(6)「午前中は、先生方から課題が配信されることによって、しっかりと学習を進めることができた」と肯定的な評価をした生徒の割合は、88%となり、効果的な取組であったことが分かる。



以下の生徒の自由記述からも、本取組の有効性が明らかである。普段の授業と異なり、何度も繰り返し視聴できることにより、自分のペースで学習が進められることのメリットを述べる生徒もいた。

- 先生方からの課題に取り組む事で勉強へのやる気が増した事。最低限の量は取り組む事ができた。
- 授業では友達と問題を簡単に解けてしまったけど、休校中は1人で問題を解くことが多かったので学校で解く時より自分で理解することが出来た。
- iPadでの課題の配信がなかったら、私は勉強をしなかったと思う。でも、こうやってクラスルームを通して決まった時間に課題が送られてくるので、学校みたいに50分やって10分休憩というふうに勉強ができた。
- iPadで学校で進められなかった授業もできるし、先生方が動画でわかりやすい説明をしたりしてくださったりしたので勉強面でもよく活用できたのでいいと思いました。

### (3) 探求学習の成果

**3 探求学習へのチャレンジ**

長期休業中の課題と同様に、時間をかけて取り組む課題を設定した。

↓

**○ 午後 探求学習**  
各教科のチャレンジ課題の提示

**【例】**  
音楽：合唱曲「夏は来ぬ」の歌詞を解釈して、イメージ画の作成  
美術：ストリートビューで美術館巡り  
理科：定点観測によるムービー作成  
保健：感染症対策をまとめる

生徒作品の例

**りんご病**  
6月から7月ごろがピーク!!  
りんご病とは ヒトパルボウイルスB19が原因  
4歳から5歳を中心に、幼児や学童に好発する。頬がりんごのようになくなることから名付けられた。(自分がなったとき、頬が赤くなると、自分以外も起こらなかった。)

**症状** 頬が赤くなる、吐き気、嘔吐、発熱、下痢、人によって症状が異なる

**感染経路** くしゃみ、痰、飛沫感染、接触感染

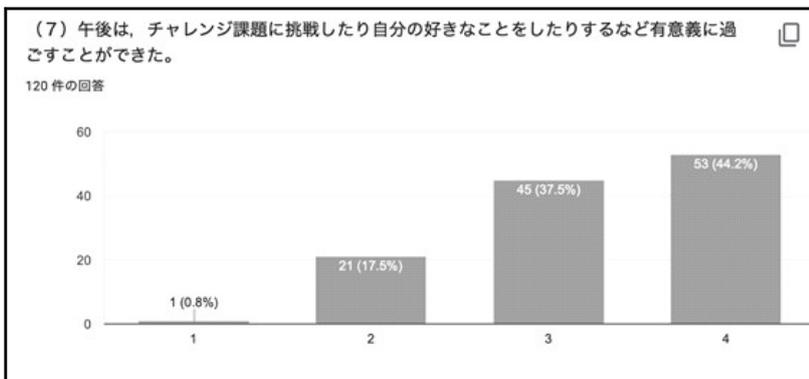
**妊婦さんは特に注意!** 妊婦さんがりんご病になると流産してしまうケースがある。

**潜伏期間** 4日~20日ほど。頬が赤くなる頃には感染力が弱まっているため、予防しにくい。

**治療法** 今のところ有効な治療法はない。自然に完治するのを待つしかない。頬が赤くなっているときは学校や保育園に行っても良い。

**予防法** 日頃からの感染予防のために自分が出来ること  
・手洗いうがい  
・マスク  
・換気  
咳エチケットや手洗いうがいをして自分もかからないように気をつける事と、ほかの人にも迷惑をかけないことが出来る!!

生徒は、午後は各教科から提示された探求学習に挑戦した。外出が制限され、現地調査や図書館利用等はできない。そのため、テーマはかなり制限されたものになってしまったが、生徒たちは下の(7)の回答のとおり、82%の生徒から肯定的な評価を得ることができた。また、生徒の自由記述からも取組の効果が分かる。探求課題の提出が新年度に入ってからという教科も多いため、現時点で課題をまとめている生徒が多い。完成した作品が早く見たいものである。



**【美術科の探求課題の一例】**  
（修学旅行が延期になってしまった2年生に対して）粘土でシーサーを作る動画（YouTube）を紹介した。

以下の生徒の自由記述から、生徒の探求学習に有効に働いたことが分かる。

- 他の学校に比べて、みんなと同じ内容の遠隔授業をすることができるので、とても良いし、自分にとっての励みにもなるため、すごく良い活動でした。また午後にある探究活動では、自分が「今日はここまでやろう」と自主自制が効くのでとても効率の良い活動となりました！
- 午前は3時間の学習、午後はそれぞれの課題に取り組んだことで、規則正しい生活を送ることができました。

#### (4) 保護者とのつながり

右のとおり、休校中も定期的に保護者宛に学校・学年たより、今後の予定、保健たより等を配信した。

卒業式、離任式、4月の予定などを配信できたため、保護者からの電話での問い合わせはほとんどなかった。

**4 保護者とのつながり**

- 各種たより等のデジタル配信  
学校だより、学年・学級だよりを保健だよりをデジタル配信する
- 健康観察の実施  
毎朝健康観察をして、学校に報告  
…Classroomの活用

副校長室から

上野教育大学附属中学校  
副校長 たより  
2020.3.9 発行

学び止める夜「ピンチをチャンスに転換する特別授業」

新型コロナウイルス対策としての3月2日から行ってきた休校措置も、はや1週間が過ぎようとしています。経過によると、再内にも感染者は発生し、今後の拡大が心配されます。①  
大学では、附属学校を改めて定期的に感染管理委員会が開催され、感染防止策について協議、それに基づいた対応をしています。②  
感染防止対策のためとはいえ、卒業式や入学旅行の延期、休校の対応が次第々々に決定され、保護者の皆様に対して十分な説明ができていない点に対して、申し訳なく思っています。今後、感染拡大を懸念し、今後の日程について改めて連絡を有難いと思っております。③  
さて、3年生は3月5日、6日の横浜高校の受検を機に卒業式とすることを決まっています。会場関係まで準備が完了しているかもしませんが、無事であれば、受検後は帰郷と外出することが多くなると思いますが、卒業式は延期は避けたいと思っております。④  
1. 2年生は、3月8日から「ICTを活用した学び止める夜プロジェクト」がスタートしました。詳細は2頁をご参照ください。⑤

① 3月2日～6日 特別授業

② 3月9日～13日 特別授業の活用

③ 3月16日～19日 特別授業の活用

特別授業で、他校や本校の授業の様子を共有し、学びを深めようとする。①  
ことにより、学びが深まれます。②  
附属中学校の生徒は平日時間に学習している授業を受けています。③  
また、学び止める夜の授業も、学びが深まっています。④

3月に実施する予定であった授業を中心に、各校が実施した授業の活用を促しています。⑤  
実施された授業に、授業時間外など様々な活用がなされています。

#### 5 まとめ

**【目標設定】 目標を決めて取り組んだ**

期間	4とも当てはまる (%)	3おおそ当てはまる (%)	2一部当てはまる (%)	1まったく当てはまらない (%)	平均値 (%)
3/2~6	38	52	10	0	33
3/9~13	52	40	8	0	34
3/16~19	55	40	5	0	35

生徒は、およそ1ヶ月にわたり、事前指導もなく、時間を自己管理することとなった。当校の取組により、生徒は少しずつ、1日の目標を設定し、学習を進めていくことができるようになったことが、左表により明らかである。

「ピンチをチャンスに」を合言葉の取組であったが、まさに目標設定の力が向上

したことがチャンスに転換できた成果の一つであろう。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための休校措置であり、生徒も教師も初めての経験であった。当校は日常からICTを活用した授業をすべての教科で展開しているため、以上の取組が比較的混乱もなく実施できた。GIGAスクール構想により、数年後に生徒一人端末が全国の小中学校に行き渡ることができれば、当校の取組が全国のスタンダードになると思われる。ICTの利活用が個別学習の最適化には大きな効果があったといえる反面、以下の生徒の感想にあるように、切磋琢磨したり互いに意見交換を通して異なる立場の考えが分かたり、学級全体で学習する意義を改めて実感できた当校の3週間の取組であった。

○ 初めての取り組みで全てのiPadの授業が新鮮で、どの教科の先生も一生懸命指導してくださった。でもやっぱり学校へ行って、みんなで授業することがよい。

7